

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	外部での研修機会はあるが、現場フロア内での伝達等がうまくできていない。	伝達研修等を行い、研修内容の振り返りや他の職員への伝達、共有化が行う。	伝達研修を実施し、今までのノウハウと融合させて、職員のスキルアップをはかる。	6ヶ月
2	36	認知症状(不穏・介護拒否)が強く見られる利用者様から、距離を置き他職員にゆだねる職員がいる。	全職員が認知症を把握し、適切な介護サービスの提供をする。	認知症の状態を細かく記録し、職員間で共有し統一する。難しい場面は、適時カンファレンスを開催し検討する。	6ヶ月
3	42	自立度の高い利用者(拒否が強い)には、口腔ケアができていない。	毎食後の口腔ケア・うがいが全員が出来る様にする。(訪問歯科の指導を受けながら)	口腔ケアを徹底することにより、誤嚥性肺炎の予防となり、健康を維持することに努める。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。